

## 会 議 録

1 会議名

令和6年度 第1回上越市環境政策審議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 上越市一般廃棄物処理基本計画（ごみ・生活排水・災害廃棄物・食品ロス）の策定について（公開）

3 開催日時

令和6年7月29日（月）午後2時00分から午後2時55分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第3会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者 氏名（敬称略）

委員：横田 清士、山縣 耕太郎、村山 斉、柴田 敏行、斎藤 信夫、  
山口 武志、二宮 和義、大嶋 浩文、市川 裕光、大堀 みき、  
岩井 文弘、竹内 恵三、青木 ユキ子

事務局：中澤環境部長

環境政策課：山田課長、平野参事、渡邊副課長

生活環境課：田村課長、滝澤副課長、久野副課長、山本副課長、

荒川副課長、吉田係長、古川主任、大堀主任

関係課：生活排水対策課 小山係長

## 8 発言の内容

(事務局)

ただ今から、令和6年度第1回上越市環境政策審議会を開催する。はじめに、委員の交代について報告する。

～委員紹介（齋藤委員・市川委員・竹内委員）・挨拶～

(事務局)

次に、環境部長の中澤がご挨拶を申し上げます。

(中澤環境部長)

～挨拶～

(事務局)

本日の出席状況について報告させていただく。委員18名のうち、13名の出席である。上越市環境政策審議会規則第3条第2項の規定により、委員の半数以上の出席があるため、会議が成立していることを報告する。なお本日の議題に関係する、生活排水対策課の職員も出席する。

(事務局)

本日の資料についてご確認いただきたい。

～資料確認～

## 議題

- (1) 上越市一般廃棄物処理基本計画（ごみ・生活排水・災害廃棄物・食品ロス）の改定について

(事務局)

資料1に基づき説明

(山縣会長)

食品ロスについて、目標①、②共に家庭に関わるものが目標として設定されていると思うが、事業者等、家庭以外の団体はどのように取扱うのか。

(事務局)

目標については、家庭に関わるものが設定されているが、食品ロスの削減には家庭をはじめ消費者だけでなく事業者や関係の団体も求められる役割を果

たす必要がある。

(山縣会長)

事業者が排出する食品廃棄物の量は、家庭と比較するとかなり多いと思うので、事業者の役割について検討頂きたい。

(横田委員)

7ページに関して。食品ロス削減計画の目標②は、生ごみ総量を減らすことでしか食品ロス削減の評価が出来ないという内容になっている。上越市は可燃ごみと生ごみを分けて排出するため仕方ない部分ではあるが、できればアンケート等で評価する要素を追加し、実効性を高めてみてはどうか。また、生ごみの排出量は資源化率の向上に寄与しており、食品ロスを削減していくことで、資源化率が減少するといった矛盾が生じるのではないか。

(事務局)

今回の資料は現時点で想定される目標について説明したものである。今後、実効性を評価できる指標があれば採用していきたい。今後進める計画策定作業の中で情報収集を行い、検討していく。

(山縣会長)

6ページに関して。アンケート調査により約9割の市民が食品ロスを認知し、何らかの取組を実践しているとのこと。これは非常に素晴らしいことであるが、このアンケート調査は、市民全体の状況を反映するようなものか。

(事務局)

食育に関する市民アンケートは農政課が実施しており、対象としては市内在住の18歳以上の男女3,000人を無作為に抽出し、その中で得られた結果と聞いている。実施時期は令和5年12月である。

(山縣会長)

無作為ということであれば、市民全体の状況を反映しているといえる。上越市は非常に意識が高い。国の目標を大きく超えている。

一般廃棄物処理基本計画については、これから複数回審議を行うので、その際に忌憚のない意見をいただきたい。それでは、他にご意見がなければこれで審議を終了させていただく。長時間にわたりご協力いただき感謝する。

(事務局)

以上で令和 6 年度第 1 回環境政策審議会を閉会する。次回の審議の開催については 9 月末を予定している。詳細は改めて連絡をさせていただく。

## 9 問い合わせ先

環境部生活環境課衛生環境係 TEL : 025-526-5111 (内線 1020-4113)

E-mail : [seikatsu@city.joetsu.lg.jp](mailto:seikatsu@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。